



【潮見小学校】

＜第4学年：ひろげよう ふれあいの輪＞

総合的な学習の時間に点字体験や車いす体験をしたり、視覚障害の人から直接話を聞いたりして、福祉に対する学びを深めていった。その後、障がいのある人との交流する場を設けた。愛媛県障害者フライングディスク協会の方の指導のもと、障がいのある方とフライングディスクを使っての様々な競技を楽しんだ。障がいの有無に関わらず、「同じことができること」の大切さや、工夫することで一緒に楽しむことができることはいろいろあるのだと気付くことができた。

その後、鈴入りのボールを購入し、ルールを工夫してゴールボールなどの競技を楽しんだ。これらの体験を通してパラスポーツへの理解が深まり、「工夫すること」の大切さを実感することができた。



【ゴールボール体験】



【フライングディスク体験】



＜JRC 委員会：潮見ふるさとづくり＞

JRC 委員会では、潮見の宝であるいとすぎについて紙芝居を作ることにした。まずは、紙芝居で読み聞かせをしているグループの方々に来ていただき、紙芝居の絵の描き方や構図、声の出し方などを学んだ。その後、赤十字賛助奉仕団の平松清一先生に「いとすぎ」の講話を依頼することとなった。潮見小学校のいとすぎは、日本全国でも1番立派ないとすぎではないかということ、潮見小学校のいとすぎの種からたくさんの苗木が育てられ、愛媛県だけではなく、中四国の様々な学校にいとすぎの苗が届けられていることを知って、潮見の宝である「いとすぎ」についての知識が深まった。また、子どもたちは、平成四年当時の子どもたちがいとすぎの周りをコスモスで囲んだという新聞記事に興味をもち、コスモスをいとすぎの周りに植えようという活動につながった。紙芝居は「いじめゼロ」の日に全校放送し、いとすぎがもつ平和への祈りや自校の誇りである「いとすぎ」について全校児童に広めることができた。



【紙芝居の読み聞かせ】



【いとすぎものがたり紙芝居】

